



## 二一世紀の川劇 文化資源化の視点から

江玉／著 勉誠社 2023.3 10,185,11p 図版 16p 22cm  
772.22/ネ 33 2023.6.16 受入  
定価 6,800 円＋税

### 目次

- カラー口絵
- 序章
- 第一章 経済的文化資源としての川劇—「四川省成都市川劇研究院」と「結義楼」を例に—
- 第二章 政治的文化資源としての川劇—四川省成都市川劇研究院『塵埃落定』を例に—
- 第三章 教育的文化資源としての川劇—教育現場からの考察—
- 終章
- 付録 四川省と川劇の歴史
- あとがき
- 参考文献
- 索引

### 図書館員のつぶやき

「川劇」という言葉、聞いたことがなかったです。  
四川省といえばパンダの保護区ですが、変面も見てみたい!!

### 内容紹介

「川劇（せんげき）」とは、中国四川省の伝統劇。よく知られている演目に「変面」がある。役者が手や扇子で顔を隠すようにして一瞬で仮面を着脱する演目である。

本書では、川劇を新しい学問分野である「文化資源学」としてとらえ、経済・政治・教育の三つの観点から論考していく。第一章では、「結義楼」という伝統的なスタイルを持つ川劇公演用劇場を中心に、観光としての川劇を考察。

第二章では、四川省出身のチベット人作家・阿来の小説『埃塵落定』を川劇化し、商業的にも大成功を取った事例を中心に、少数民族の文化を取り入れた川劇演目の制作が政治的な意図を含んでいることを指摘する。

第三章では、「川劇教育」を芸術教育の一環として小・中学校や大学で教える取り組みや、川劇俳優である劉磊（リュウレイ）氏出資の、いわば川劇教育の塾「舟石伝承」などを例に、一般市民にも「川劇が教育的文化資源である」という認識が広まった事を示している。

豊富なカラー写真と著者による「四川省と川劇の歴史」も掲載。変化しつつある二一世紀の川劇を探る一冊。

### 関連書籍

『中国演劇史図鑑』  
科学出版社東京 2018.3

## ぐんま方言かるたⅡ

待望の入荷!

共愛学園前橋国際大学／制作 [2021]  
90枚(全45札) 14×15cm(箱)  
CD-ROM(1枚 12cm)  
箱入り K795/ネ2Z 2022.11.11 受入

### 内容紹介

共愛学園前橋国際大学の学生が、読み札、絵札、販売までも担当し、制作されたのがこのかるた。2012年に作成された第1弾とはすべて異なる方言が採用されている。

エフエム群馬のアナウンサーによる読み聞かせCD付きで、紙では伝わりにくい方言のアクセントも再現。ぐんまネイティブ(?)がいなくても方言が楽しめるようになっている。

本作はテレビでも取り上げられ、かるたの販売を取り扱う店舗数は100店舗を突破したという。県内の書店や旅館、観光地などで販売されている。

2023年1月には、こちらも学生によって制作された『ぐんま方言かるたⅡ読み上げアプリ』もリリースされ、CDプレーヤーがなくても楽しめるようになった。

共愛学園前橋国際大学の教授・学生らの、群馬県の大文化の一つである「方言」を若い世代へ伝えていきたい、という思いのつまった一点。

[参考]・上毛新聞 2021年12月9日、2023年2月6日  
・共愛学園前橋国際大学 HP (<https://www.kyoai.ac.jp/>)  
・蘭美蚕 (<http://mayumi3.com/>)

### 〈県立図書館かるたコーナーのご案内〉

◇ 2階郷土資料室には、県内で発行されたカルタ 158点が並んでいます。全国の電話帳の棚の上にあるのですが、ここに置けるのもあと数点です。新たな置き場所を考えねば…

◇ 貸出ができるものもあります。ぜひご利用ください。



### 図書館員のつぶやき

個人的お気に入り札は「すらっといんに そんつらこと」  
(バンジージャンプの絵札)



本紙は、県立図書館が新たに収集した資料をご紹介します。県立図書館は、小説や実用書などの一般的な資料よりも、専門的な資料や通常の出版物ルートに乗らない郷土資料など、特定の利用者層や限定的なニーズを満たすような資料を収集する役割を担っています。“ニッち”＝“すき間”というタイトルにその意図を込めてみました。

【群馬県立図書館】〒371-0017 前橋市日吉町一丁目9-1 電話：027-231-3008

